

## 令和2年度第2回下田市総合教育会議 会議録

開催日時 : 令和2年12月25日(金)17時00分~17時50分

出席者 :

### 【委員】

市長	松木 正一郎	教育長	佐々木 文夫
教育委員	田中 とし子	教育委員	西堀 政幸
教育委員	天野 美香		

### 【事務局】

学校教育課			
課長	糸賀 浩	参事	和泉 多恵子
課長補佐	土屋 仁	学校教育係長	平川 博巳
指導主事	檜山 和人	子ども育成係長	内田 陽久
主査	原 隆史	主事	井出 涼子
生涯学習課			
課長	鈴木 美鈴	図書係長	澤地 彩
社会教育係長	金守 俊彦		
統合政策課			
課長	平井 孝一	参事	加藤 克寿
政策推進係長	本間 洋	主事	藤井 茂雅

1 開会 17:00

2 あいさつ

#### ・市長

下田の未来を担う子どもたちにとっての大切な教育大綱について、前回、様々な貴重な意見をいただいた。その一つ一つについて、学校教育課で一つ一つ検討したものを本日、協議いただく。また、今日も様々な意見をいただき、しっかりと議論し、少しでもよりよいものにしていきたい。よろしくお願いします。

#### ・教育長

教育大綱は、下田市の教育の柱となる。前回、委員の皆様、市長よりご指摘、ご指導を受け、事務局において時間をかけて検討した。12月17日に臨時の教育委員会を開催し、委員の皆様からいろいろなご意見をいただき、方向性を確認した。その中で、教育委員会と統合政策課で協議し、また、市長よりアドバイスをいただいた。本日15時からの定例の教育委員会において、修正したものを委員の皆様と協議いただき、この大綱案を作成した。本日の総合教育会議においても協議、ご意見をいただき、最終案にできればと思っている。よろしくお願いします。

### 3 協議事項

#### 下田市教育大綱（案）について

- ・事務局（学校教育課参事）より変更について説明。
- ・事務局

前回、皆様から意見をいただき、1ページを使い、教育大綱について説明するなど変更した。

教育理念を「下田に誇りをもち、未来を切り開く志をもった人」に変更。

教育大綱の性質としては、下田市民一人一人が、人づくりやまちづくりを自分のこととして捉える指針となるように整理している。子どもから大人まで、一人一人が「下田に誇りをもち、未来を切り拓く志をもった人」になることを目指し、また、そういう人材育成に自らも参画するという、なりたい、育てたいという目標をもって取り組んでいくためのイメージの原点となるものとした。

「なぜこのような教育大綱にしたか」については、過去・現在・未来として説明を記載した方が良いという意見があったので、その内容を記載した。

教育の理念については、市長レクの際に、「下田の未来を担う」では、範囲が狭く、世界、宇宙で活躍できる人材を育てるのが、これからの教育ではないかとの意見をいただいたため、事務局で協議し、「未来を切り拓く志をもった人」に変更した。

#### 【質疑、意見等】

##### ・市長

前回、「担う人」という言葉に違和感を覚えた。

下田で教育をさせたいと考えてもらえるようになるものにしたいと思い、発言をした。

吉田松陰の言葉を使ったのは良いと思う。

また、防災についてと国際性について話をしたと思う。下田市では小さい頃からアメリカと交流がある。特に取り組みのところにおいて、防災と国際性についてどのあたりに記載があるか。

##### ・事務局

防災については、考えて行動することが必要であり、「教育の理念」の中の「未来の切り拓く志をもった人になるために大切なことは何ですか？」の中に「未知の状況にも対応できる判断力、表現力、行動力を身につけること」に自分で考えて行動できるというところを謳っている。

取組の中では、「居場所づくりに向けた取組」の中の「命を守り、安全かつ安心して生活できる環境づくりを目指す」が防災関係の教育につながっていくのかと考えている。

国際性については、「下田に誇りをもつために大切なことは何ですか？」の「下田でしかできない体験や学びを思う存分体験すること」に黒船祭や水兵との交流は下田でしかできない体験と考え、こちらに含めている。

##### ・市長

各係の主な取組には、既存事業が記載されているが、未来に向けてのものなので、可能性のあるものを書いてほしいと思う。

ほんの少し大綱に言葉を足してもらいたい。

##### ・事務局

これから協議を重ね、各係の主な取組の方へ、未来に向けたものを記載していきたい。

大綱の「未来を切り拓く志を持った人を育てるために大切なことは何ですか？」の中の「未知の状況にも対応できる判断力、表現力、行動力を身に付けること」の中に「防災力」を加え

ることも検討したい。

国際性については、「下田に誇りをもつために大切なことは何ですか？」の中の「下田でしかできない体験や学びを思う存分経験すること」に「国際交流を」を加えることも検討したい。

事務局において、わかりやすい表現を付け加えていきたい。

・田中委員

この大綱を学校で、具体化させることを考えた際に実施できるかなど考える必要がある。もう少し検討期間が必要。具体的には、記載することが出来ないのではないかと思う。

・市長

大綱なので、方向性として具体的に記載をしたいものである。

・教育長

下田の魅力、特徴となると開国である。国際交流という言葉は入れても良いかと思うが、具体的にになるとどうかとも思う。

防災については、子どもも大人も防災力を身に付ける必要があるもの。事務局の提案のように、「防災力」を加えても良いと思う。

国際性については、「国際交流」、「国際化」が入ってくると良いと思う。

検討し、理念の中におとし込んでもらいたい。

・事務局

ご意見を考慮し、事務局で考え、取り込み整理していくことでよろしいでしょうか。

・委員

異議なし。

・西堀委員

「各係の主な取組」への記載について、「国際力」を入れるのであれば、英語力のところで、黒船祭のときに、玉川大学の学生が英語を教えるわけではないと思うので、もう少し英語教育を表に出すことができないかと思う。

・事務局

「各係の主な取組」については、今後検討していく。

全学校にALTがいるので、英語教育には力を入れていきたい。

・教育長

玉川大学の学生は、水兵と話すことにエスコートしてくれている。

英語力について、子どもたちは英語検定に意欲を示している。

・市長

国際教育について、国際性は、世界のことを知ろうというもの。宗教、食文化、肌の色などを知ろうとすることで、自国のことをわかってもらう。また、下田のことも。

このようなことから、国際教育はやってもらえたらと考える。

現在、市で政策研究会というものを開始した。1つの班において、給食に様々な国の料理を出して知ってもらおう案が出た。こういうのも良いと思う。

とても大切な切り口があるのではないかと思う。

- ・天野委員

国際性については、給食の取組は良いと思う。子どもたちにとって、見るもの、口にするものの影響は大きいので。

防災については、防災は意識するものであるので、その部分を記載していただきたい。

- ・事務局

パブリックコメント前に事務局一任で、防災や国際性について、入れさせてもらい、パブリックコメントを実施したい。

パブリックコメント後、もう一度、総合教育会議を開催することで良いか。

- ・市長

教育長と事務局にてお願いできたら良い。

- ・教育長

事務局と私で作成し、パブリックコメントを実施することでよろしいか。

- ・委員

異議なし

#### 4 その他

- ・市長

政策研究会の内容が良かったので、できたら、教育委員の皆様にも聞いてもらえたらと思う。次回は3月に最終発表を行う予定。

- ・教育長

日程を合わせて聞けるようにしたい。

#### 5 閉会 17:50